



一般社団法人

沖縄住宅産業協会



令和元年度 第2回定例会を開催

沖縄住宅産業協会の令和元年度第2回定例会が、8月6日(火)に沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハで開催されました。はじめに、高宮城啓之理事長が開催の挨拶として、これまでの活動を振り返るとともに、2021年11月に予定されている全国大会沖縄開催の成功に

向け、一致団結を呼びかけました。

続いて、新会員として有限会社MBライフカンパニーが紹介され、株式会社沖縄日立取締役社長に就任した南公一郎氏が挨拶。また、一般社団法人全国住宅産業協会の常務理事に就任した株式会社富士開発代表取締役の小尾一氏が、就任の抱負を語りました。

会員による商品説明では、沖縄ガス株式会社と株式会社新洋が、それぞれの商品と取り組みを紹介しました。

式後半は「不動産後見人制度について」をテーマにしたセミナーに、一般社団法人全国住宅産業協会の組織委員会から松崎隆司氏と西澤希和子氏が登壇。少子高齢化がますます深刻になっ



てくる社会状況において、認知症高齢者や判断能力が不十分な方が関わる不動産について適正な相談対応・管理・取引を可能とするため設けられた「不動産後見アドバイザー」資格の重要性を説明。後見制度や、高齢者・障がい者に対する理解・対応実務、関連する法制度などの知識を持った人材を育成する同資格について紹介しました。

最後に、協会からのお知らせでは、11月に関西で開催される全住協全国大会や、不動産後見アドバイザー資格講習会の開催について周知されました。

定例会終了後には親睦会が開かれ、来賓や会員同士の交流が終始なごやかに行われました。

新規会員

新会員

有限会社 MB ライフカンパニー

